

When to Come to Hospital in Labour

出産のため病院に行くタイミング

Japanese

September 2018

ご来院の際は、事前に出産支援サービス (Birthing Service) または助産師までご連絡ください。助産師は、ご来院前にすべきことや留意点についてお知らせし、またあらゆるご質問にお答えします。

今回が初めての出産となる場合

出産予定日に近く(妊娠37週目以降)、さらに以下の状態が当てはまる場合は病院をお訪ねください。

- 陣痛が強くなり始め、間隔がより短くなり、また1回の陣痛が60秒ほど続く場合。特に、このような状態が1時間以上続いている場合は必ず病院までご連絡ください。ほとんどのケースにおいて、このとき陣痛の間隔は3～5分ぐらいになっています。

または

- “破水”が起こった場合。これは、赤ちゃんとその周辺の羊水を包んでいる卵膜が破れることで生じます。破水には、羊水が少しずつ漏れてくる場合と、突然大量に流れ出る場合があります。破水時には、生理用ナプキンの使用をお勧めします。病院では、助産師が羊水の色や匂いなどをチェックします。

または

- 鮮やかな赤色の出血がある場合。

初めての出産を控え、妊娠37週未満の方は、陣痛、破水または出血など、分娩の兆候が現れた場合には速やかに病院までご連絡ください。

過去に出産をご経験の方の場合

基本的には上記の初産時と同様ですが、陣痛の間隔が5分～7分になったら病院をお訪ねください。

英語に不安がある場合はどうすればいいですか？

ご希望の方には、会話の際に通訳を手配することができます。英語でのコミュニケーションに不安をお持ちの場合はご家族またはお友だちに立ち会ってもらうこともできますが、医療に関する会話はすべて資格を有した通訳を介して行うようお勧めします。**通訳サービスは無料でご利用いただけます。また通訳者は、会話の内容について守秘義務を順守します。**

通訳を利用する権利はすべての方々にあります。ご希望の方は、オファーの有無に関わらず、ご遠慮なく職員まで手配をお申し付けください。

当院へご連絡の際に通訳をご希望の方は、電話通訳サービス (TIS - Tel: 131 450) をご利用ください。

最寄りの病院の連絡先

担当者氏名: _____ 電話番号: _____